

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患週報情報

平成23年第11週(3月14日～3月20日)

No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ₁	発生記号	No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ₁	発生記号
1	インフルエンザ ²	3,187	27.71	9.75		10	百日咳	4	0.06	0.06	
2	RSウイルス感染症	15	0.21	0.33		11	ヘルパンギーナ	5	0.07	0.04	
3	咽頭結膜熱	53	0.74	0.36		12	流行性耳下腺炎	73	1.01	0.76	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	320	4.44	1.65		13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	感染性胃腸炎	780	10.83	10.87		14	流行性角結膜炎	15	0.79	1.19	
6	水痘	84	1.17	1.79		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	15	0.21	0.67		16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
8	伝染性紅斑	41	0.57	0.15		17	マイコプラズマ肺炎	3	0.14	0.22	
9	突発性発しん	36	0.50	0.51		18	クラミジア肺炎 ³	0	0.00	0.00	

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹
疾患No.	1	1～12	13, 14	15～18
定点数	43	72	19	21

- 過去5年間の同時期平均(定点当り)
- 鳥インフルエンザを除く。
- オウム病を除く。

急増減疾患!! (前週比2倍以上増減)

急増減疾患 なし

注意すべき疾患

インフルエンザ

インフルエンザが、ピークであった第4～5週とほぼ同じ発生数まで増加してきており、今後も流行の拡大の可能性がります。

引き続き手洗いとうがいの励行を心がけてください。

発生記号(前週と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名
一類	0	発生なし
二類	30	結核
三類	4	細菌性赤痢(3), 腸管出血性大腸菌感染症(1)
四類	0	発生なし
五類全数	5	後天性免疫不全症候群(1), バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1), 麻しん(3)